

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	岡山白ゆり発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～ 令和7年12月1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもに寄り添った活動・教材の提供	・日頃から子どもたちの話を聞き、興味・関心事のアンテナをはっておく。また、活動中に子どもから出たアイデアをその場で取り入れる。 ・その日の子どもたちの様子や興味に合わせて活動内容等を臨機応変に変える。	・子どもたちからの声に日頃から耳を傾け、信頼関係を築いていく。 ・子どもたちが主体的に考えたり意見を言える、選択できる場を提供する。
2	・子どもたちがたくさん体を動かせる環境	・晴天時は散歩、雨天時は室内でかけこやサーキット等、体をたくさん動かせるように工夫している。今年度は外部講師による体操教室を取り入れた。 ・しっかり体を動かしてから座ってする活動や集中する活動に取り組むように活動順を考えている。	・前回までの様子等を振り返り、成功で活動が終われるようにより活動の内容や発展の仕方等を工夫したり、事前準備をしっかりとっていく。 ・体操教室の内容で日々の支援に取り入れられそうな内容は活動に反映させる。
3	・保護者様への寄り添い	・保護者様から相談等があった時は一緒に考えながら悩みや成長を共有できるようにしている。 ・一度だけでなく、いつでも、何度でも相談をしていい、と思っただけのように対応をしている。	・相談された内容でわからないことがあれば他の職員に聞く等して、事業所全体でサポートできるようにする。 ・知識のアップデートや習得のために研修等に参加する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・各情報の周知	・全体通信で知らせたり入口に報告等を掲示しているが、目にとどまりにくいかもしれない。 ・口頭で伝えたりもしているが、全体に周知しきれていない。	・掲示する場所や一目見て何をしたのかわかるように掲示の仕方等を工夫する。 ・年度初めに再度お知らせ(口頭、通信等)をする。
2	・ピアレントレーニングや交流会等の開催	・現在は相談や見学等には個別に対応しており、保護者からの要望もないため、全体での会は開催していない。	・ご希望があれば検討していきたい。 ・今後もご本人だけでなく、ごきょうだいの相談等の対応も行い、保護者様に寄り添っていきたい。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	岡白白ゆり発達支援センター
------	---------------

公表日 令和8年3月1日

利用児童数

16

回収数

14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2		1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13				1	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12				2	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	2	3		相談等に随時対応していますが、プログラムとしては行っていません。ご希望があれば検討させていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13				1	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13				1	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	5	6	左記のようなイベントは開催されていない認識のため	保護者会や交流会等は開催していません。相談に応じる等して支援させていただいています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12			1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	2		2	各マニュアルを作成し、訓練や研修の報告も掲示していますが、周知していただけるよう検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			3	避難訓練等を行い、報告を掲示、連絡しています。周知していただけるよう検討いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1		毎日「今日はまさかっど？小学校行ってもまさかっど行く」と楽しみにしています。	ありがとうございます。今後も子どもたちの「できた」「楽しい」を大切にしながら職員全員で努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			先生方が工夫を凝らして色々な体験をさせてくださって本人とても楽しんでいるようです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		岡山白ゆり発達支援センター				公表日	令和8年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	広く部屋を使わせてもらっており、室内で体をしっかり動かすこともできます。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2		見学の受け入れや職員の休みがあった時等、手薄になりやすいので、安全確保のため調整や人員確保が課題です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	事業所内はバリアフリー対応で、できる限り余計な物を置かないようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日掃除、消毒、換気を行い、気持ちよく過ごしていただけるように心がけています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	その時・場に応じて使い分けています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	毎朝全職員でミーティングを行い情報共有をしています。また、気になることがあればその都度話をするようにしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎回貴重な意見をいただいております。いただいたご意見は共有し、活動に生かさせていただいています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎朝のミーティングや月1回職員会議を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人内の研修にはどの職員も参加するようにしています。内部・外部研修にも参加できる機会を確保しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	作成、公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	期間毎にモニタリングを行い、ご本人と保護者様の意向を取り入れた支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日々子どもの様子を共有し、検討した上で作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	作成された支援計画は全職員が確認するようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	日々の活動の様子や保護者様からの相談・情報は記録に残しています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ご本人と保護者様の意向を取り入れながら設定しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	主の職員を中心に相談しながらプログラムを考えています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子どもの様子や特性に応じてプログラムを設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	子どもの発達段階に応じた個別、集団における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎朝ミーティングを行い共有しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	その日の子どもの様子だけでなく保護者様からの情報も伝え、共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の活動を記録し、保護者様に確認していただいています。また、その記録を読み返すようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に1回支援計画の見直しを行っています。その際、保護者様からも情報を得るようにしています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者または担当職員が出席するようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じ、相談支援事業所や園と連携を図っています。	今後も必要に応じて連携を図っていきたく思います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	園の担任の先生と情報共有したり、保護者様からの依頼で関係機関に渡す書類を提出したりしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	相談支援員や園に情報提供・共有をするようにしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	法人内の施設の地域交流会や園行事に参加しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時等に直接保護者様とお話させていただいています。随時相談にも応じています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	家庭や園等での状況の聞き取り、相談への助言等、随時対応しています。	プログラムとしては行っていません。ご希望があれば検討させていただきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に書類と一緒に説明しています。質問があった時には速やかにお答えするように努めています。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	日々の活動やご本人のことは、保護者様を通して意向をお聞きしています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	新しい支援計画を発行する時には提示しながら説明し、その場でサインをいただくようにしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	いつでも相談に応じるようにしています。時間が合わなければ後日場を設けたり電話で対応しています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	現在はそのような場を設けてはいません。	ご希望があれば検討させていただきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	随時何かあれば相談してほしいことを伝えていきます。申し出があればすぐに場を設けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	毎日活動の様子をSNSで発信しています。また、月1回全体の通信を発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	事業所外に持ち出さないことはもちろん、不必要に口に出さないように気を付けています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	子どもたちだけでなく保護者様にも気持ちよくご利用していただけるよう日々努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	法人内の施設で地域交流会があり、そこに参加していますが、事業所では行っていません。	ご希望があれば検討させていただきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各マニュアルを策定し、職員だけでなく子どもたちと一緒に訓練も実施しています。	保護者様への周知が今後の課題であり、掲示や伝える工夫を検討していきたいと思えます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	策定を行い、随時見直し・訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	保護者様から書面で必ず確認し、全職員に情報共有するようにしています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時にアレルギーの確認を行っています。食品を提供する際はダブルチェックを行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	計画を作成し、必要な訓練等随時行っています。見直した方がいいことがあれば職員で話し合って改善しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	説明だけでなく、非常時のお知らせを配布しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	事故・怪我があった場合はその日に情報共有を行い、改善できることはその日に行います。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	マニュアルを作成し、虐待防止研修を実施しています。保護者様にも契約時に説明を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3	現在該当の方がおられません。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	